

V 緑のまちづくり・自然環境保全の推進

1 緑のまちづくり

歴史ある馬場大門のケヤキ並木、貴重な自然が残る崖線や浅間山などの緑は、本市を代表する重要な緑の拠点であり、多摩川や用水・湧水などの水辺は、緑と一体となって、緑ゆたかな景観と自然と触れ合える貴重な空間として、私たちの生活に潤いや安らぎを与え都市の魅力を高めています。

このような中、市では、平成21年8月に「府中市緑の基本計画2009」を策定し、計画テーマを「水と緑が輝く 潤いのあるまち 府中」として、基本目標を「緑の保全・活用」「緑地の整備・創出」「緑化の推進」「協働による緑のまちづくり」の視点から設定し施策に取り組むことにより、将来都市像「心ふれあう 緑ゆたかな 住みよいまち」の実現を目指しています。

平成24年度に実施した内容は次のとおりです。

- 市内の公園や緑地等の公共花壇に、まち全体の緑の個性と豊かさを育むため、まちかど空間の緑化として四季折々の草花を植栽しています。
- 水と緑が持つ様々な機能をより高め、市内全域の水と緑のネットワーク形成を推進するため、親水路整備を行いました。
- 市民のだれもが歩いていける範囲に、公園の整備を進めています。
- 開発行為や中高層建築物などの大規模な開発事業は、まちの緑や景観に大きな影響を与えることから、緑地の確保や公園の設置などを適切に誘導し、緑化の推進を図っています。
- 府中崖線と連続する崖線を保有する8自治体と東京都で構成する「多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会」において、崖線の緑の保全の重要性を市民等に普及啓発するため、多摩川由来の崖線の緑を考えるシンポジウム、ウォーキングラリーを開催しました。

2 自然環境保全の推進

市民による自主緑化の普及啓発のため、府中環境まつり2012内で、緑化活動のPR、鳥の巣箱作り講習会や草花の頒布など自然体験コーナーを実施しました。

また、自然への愛着を醸成するため、「府中水辺の楽校」や「蓮を観る会」などの身近な自然に親しむ事業を実施しました。緑化標語・ポスターづくりを通じて身のまわりの自然の豊かさを市民の方々に再認識していただくとともに、これら応募作品の展示会を通じて、市民の方々へ自然の大切さを呼びかけました。

(1) 自然保護啓発普及事業

鳥の巣箱作り講習会

自然保護に関する意識高揚のために、府中環境まつり2012内で、鳥の巣箱作り講習会を行いました。

件名	参加状況	実施日
鳥の巣箱作り講習会	参加者 42名	6月2日(土)

(2) 水辺の楽校事業

子ども達が多摩川などの水辺を活用した自然環境学習、体験活動及び自然環境の啓発活動を行うため、大丸堰周辺の多摩川河川敷において、自然体験プログラムの実施や小学校の総合的学習の時間での自然環境学習に協力しました。

● 水辺の楽校イベント

実施日	内容	参加者数
平成24年6月10日	指導者講習会	4人
7月21日	「多摩川サマースクール」	81人
8月9～10日	「多摩川源流体験教室2012」	51人
8月25日	「多摩川おさかなウォッチング」	125人
9月15日	「多摩川でガサガサ魚とりと魚つかみ」	107人
10月13日	「多摩川でガサガサ魚とりと投網」	117人
11月24日	「多摩川でクイモ探しといも煮」	63人
平成25年1月19日	「多摩川で石ころウォッチング」	30人
2月17日	「活動発表会」	136人
		計 714人

● 小学校総合学習協カイベント

実施日	内容	参加者数
平成24年6月5日	新町小学校（多摩川自然観察）	74人
6月6日	日新小学校（大好き多摩川）	85人
6月8日	日新小学校（大好き多摩川）	94人
6月12日	明星小学校（くぬぎ体験学習）	117人
6月15日	新町小学校（多摩川自然観察）	69人
6月25日	矢崎小学校（植物観察・昆虫観察）	51人
6月27日	明星小学校（くぬぎ体験学習）	115人
7月11日	四谷小学校（多摩川名人になろう）	98人
9月10日	矢崎小学校（多摩川探検隊）	59人
9月11日	日新小学校（大好き多摩川）	90人
10月22日	四谷小学校（多摩川名人になろう）	96人
11月20日	矢崎小学校（昆虫観察・キクイモ掘り）	51人
平成25年1月21日	矢崎小学校（植物・昆虫・野鳥観察）	51人
1月31日	武蔵台小学校（植物・野鳥・昆虫観察）	51人
2月22日	四谷小学校（多摩川名人になろう）	94人
		計1,195人

(3) 樹木保存事業

みどり豊かなまちづくりのため、一定規模以上の樹木や樹林をに指定し、奨励金を交付しました。また、台風などによる枝折れや倒木で事故が発生した場合に、市が所有者に代わって賠償金を支払う制度があります。

件名	内容
保存樹木	所有者件数 204名 本数 2,135本
保存樹林	所有者件数 3名 面積 829.46㎡

(4) 緑の活動推進委員運営事業

公募市民などによる緑の活動推進委員会が、自然観察会や自然保護活動を行うなど、緑化活動や自然環境の保全活動に積極的に取り組みました。また、11月末の任期終了にあたり、生物多様性に配慮した緑地・公園づくりを市民参加で行うなど今後の取組みについて、提言書として市長へ提出しました。

▽活動内容

- 武蔵台公園の山野草の保護及び小学校の総合的学習の時間の支援
- ホタル飼育支援
- 府中環境まつり2012における自然体験コーナーの企画・運営
- 水と緑のネットワークウォーキングマップを活用したウォーキングツアーの実施
 - 5月16日(水)「鎮守の森とかぜのみち」参加者43名
 - 11月7日(水)「多磨霊園と武蔵野の森プロムナード」参加者22名
- 緑化講習会の企画・運営
 - 11月17日(土)「身近な木の実や木の葉でリースを作ろう」参加者12名
- 自然観察会及び生きもの調査の実施

(5) 自然環境調査員会議運営事業

緑の活動推進委員会の任期満了にあたり、自然環境の保全の推進を図るため、公募市民などによる自然環境調査員会議が平成24年12月発足されました。自然環境調査に取り組み、生物多様性の保全に繋げていく活動を行っています。

▽ 活動内容

- 自然環境調査
- 自然保護意識の普及・啓発に関するイベントの企画・運営(府中環境まつり自然体験コーナー、水と緑のネットワークウォーキングツアー、ツバメの集団ねぐら市民観察会)
- 自然保護活動の推進(ホタル飼育支援)

(6) 花蓮保存普及事業

大賀蓮の種を発掘した大賀一郎博士の出身地として、市民に末永く親しまれるよう「蓮を観る会」を通じて府中の花蓮をPRしています。7月1日(日)に郷土の森公園修景池にて第52回蓮を観る会を開催し、市内外から多くの方が花蓮を観賞しました。

開催日	会場	内容
7月1日	郷土の森公園修景池	○花蓮の解説 ○市民等が撮影した花蓮写真を応募作品の中から選定し、蓮を観る会ポスター写真に採用した。 ○花蓮写真講習会の開催(7月4日) ○参加者数…600人

(7) 市民花壇運営事業

公園など公共地において、市民参加による花壇づくりを進めることにより、まちに潤いと安らぎのある生活環境を作り出すため、登録した市民団体・グループに草花の苗を提供しました。

- 市民花壇…39か所(フラワーポッド92台、427.77㎡)
- 配付回数…2回(花苗10,060株、球根1,800球)
春:4,200株(花苗 トレニア、サルビア、マリーゴールド、アメリカンブルー4種)
秋:5,860株(花苗 パンジー、ノースポール、ハボタン3種)
1,800球(球根 チューリップ1種)

(8) 緑と花いっぱい運動推進事業

府中環境まつり2012において、自然体験コーナーを実施し、市民意識の高揚に努めました。また、緑の募金活動や落ち葉の銀行事業によって、市民の自主的な緑化活動を支援することによって、緑と花のあるまちづくりを推進しました。

▽ 府中環境まつり2012(自然体験コーナー)

日時:6月2日(土)午前10時～午後3時

会場:府中公園

内容:木の実細工作りや巣箱作り講習会、草花・苗木の頒布、緑化活動PRなど

参加者数…約700人

▽ 草花の頒布

○ 頒布数…草花100鉢(ブルーサルビア100鉢)

▽ 緑の募金

学校、自治会、企業などから緑の募金への協力がありました。緑の募金還元事業として、学校等に花の種子や球根を配付し、身近な緑化活動を推進しました。

募金額 1,090,259円

○ 種子…2,600袋(3種)(アサガオ、ケイトウ、ヒマワリ)

○ 球根…1,890袋(3種)(チューリップ、フリーズア、スイセン)

▽ 落ち葉の銀行事業

緑のリサイクルを積極的に進めるため、落ち葉の銀行事業を実施しました。登録した市民団体が公園や広場を清掃し、収集した落ち葉を、市が回収して放射能濃度測定を行い、暫定許容値以下であることを確認したうえで腐葉土にしています。

期 間:平成24年11月～平成25年1月(月・木)

登録団体:30団体34か所

回 収 数:1,347袋